

なみき通信



令和7年度桜並木学園つくば市立並木小学校 学校だより 12・12月1日号

令和7年の締めくくりにあたって

令和7年も締めくくりの時期となりました。今年も保護者・地域の皆様に温かく支えていただき、日々の教育活動をともに進めてこられたことに、心から感謝申し上げます。本校の「探究的な学びを土台に、子どもが主語の学校づくり」という思いは、少しずつ形となっていました。

特に2学期が始まってからの数か月、子どもたちは「体験」を通して大きく伸びてあります。音楽発表会では、学年・学級・個人で目標を定め、友だちと音や呼吸を合わせる難しさとともに、楽しさを感じたと思います。本番までの子ども同士の対話を交えた練習、そして本番での表現は、「やり抜く力」や「自己効力感」を育んだと思います。校外学習では、計画や役割分担、限られた時間での判断など、学級での話し合いを重ねながら、自分と仲間のよさを再発見しました。5年生のさしまの宿泊学習では、自然に向き合い、同じ釜の飯を食べ、夜の振り返りで一日の学びを言葉にすることで、協働する姿勢やレジリエンス(立ち直る力)が育ったと思います。これらはいずれも、学力の土台となる非認知能力(集中、共感、自己調整、挑戦する意欲等)を育てる機会になりました。

授業づくりでも、「課題設定のための導入」「思考を深める対話」「挑戦する意欲を高める振り返り」「質の高いアウトプット」という4つの視点を学校全体で大切にしてきました。例えば社会やつくスタでは、身近な疑

問や課題を起点に自分たちで問い合わせを立て、情報収集・アンケート等を通して考え、友だちに伝わる形でまとめる活動が広がっています。発表のあとに「次はこうしてみたい」と語る子どもが増え、学びが次の学びへつながるよい循環が生まれています。



令和7年の学びの成果として、①子どもが自ら課題を見いだす姿 ②対話で思考を深める場面の増加 ③挑戦と失敗を学びに変える文化 ④成果を伝え合う発表の質向上であると思います。次の一步は、この流れを継続し、体験と授業を往還させて学力と生きる力を同時に高めることです。引き続き、子どもがイキイキと学び、確かな成長を実感できる学校づくりを進めたいと思っています。

校長 大村 千博

音楽会を終えて



音楽会の数週間前から、校内には歌声と楽器の音が広がり、練習を重ねるたびに、学級・学年の枠を越えて助け合う姿が目に見えて増えていました。

そして本番当日、子どもたちは、それぞれの持ち場で力を出し切り、全身で拍をとり、声を合わせ、音を重ねることができました。その一瞬一瞬に立ち会い、思わず鳥肌が立ち、目頭が熱くなるのを感じました。保護者の皆様にとっても、心が満たされる時

間だったのではないでしょうか。

音楽会は、成果を発表する場であると同時に、仲間と目標に向かう過程で子どもたちが大きく成長する機会です。準備の期間を通して、「苦手や難しさに向き合い、最後までやり抜く力」「友達の気持ちに配慮し、互いに支え合う力」「小さな上達を積み重ね、努力を続ける力」が確かに育っていると感じました。

当日までのご家庭での励まし、本番当日の温かい拍手に、心より感謝申し上げます。これからも、学校と家庭が手を携え、子どもたちの学びと成長を支えていければ幸いです。

5・6年生 科学の甲子園キッズに参加しました！

13日(茨城県民の日)に、笠間の研修センターで行われた「科学の甲子園キッズ茨城県大会」に、5年生3名・6年生3名の代表チームが参加しました。県内から36チームが集まり、科学の力とチームワークを競い合いました。

事前に公開されたテーマは「プロペラシャーターでターゲットを目指せ！」でした。本校のチームは大会2週間前から校長室前に集まり、中休みや昼休みを使って、試行錯誤を重ねながら取り組みました。「どうすればまっすぐ進むの



か」「どんな形がよいのか」を話し合ながら改良を続け、最後まであきらめず挑戦する姿が見られました。2チームとも銅賞をいただきました。大会を通して、科学する楽しさや仲間と協力する大切さを感じることができました。

3・4年生 PTA主催の護身術の授業 自分の身を護る方法を学びました



PTA主催で、剣護身術の黒木先生をお招きし、「命を護る」ための出前授業を3・4年生対象に行いました。昨年度に続く取り組みで、子どもたちは「自分の身を護る力」を身につけることを目的に、体を使って学びました。授業では、不審者に遭遇したときに「怖くても大きな声を出すこと」「つかまれたときにどう逃げるか」など、具体的な状況を想定して練習しました。実際に体育館で走りながら、声を出し、逃げる方向を考えるなど、子どもたちは真剣に取り組んでいました。黒木先生からは、「護身の基本は戦うことではなく、逃げること」と教わりました。技を覚えるだけでなく、危険から離れる判断力や勇気を育てることの大切さを学ぶ時間となりました。

子どもたちからは「大きな声を出すのは勇気がいるけれど、自信がついた」「逃げる練習が役に立ちそう」といった感想が聞かれました。PTAの皆様のご協力により、子どもたちが命を守る実践的な学びを深める貴重な機会となりました。参加してくださった保護者のみなさま どうもありがとうございました！

5年生宿泊学習～仲間と協力し、自然の中で学ぶ～

5年生は27・28日、さしま少年自然の家へ宿泊学習に出かけ、「楽しく協力して、思い出に残る宿泊学習にしよう！」をテーマに、野外炊飯・焼き板づくり・キャンプファイヤーなどの活動を体験しました。まず、「焼き板づくり」体験では、板を火に当てて焼き目をつける作業、たわしで磨く作業、さらに絵付けを行うなど、ものづくりの楽しさと難しさを体感しました。集中して作業に取り組む姿が印象的でした。夕方の活動では、キャンプファイヤーに臨みました。火の神から子どもたちが火をもらい、薪に着火した瞬間、子どもたちが歓声の声をあげました。夜空を焦がしそうな炎の周りに、子どもたちが集い、ダンスをしたり、歌を歌ったりと日常では味わえない感動的な時間を過ごすことができました。子どもたちはひとつの輪となって心を通わせる素晴らしい時間でした。



2日間を通して、助け合いの大切さや、自然の中で考え・行動する力を育む貴重な体験となりました。

桜並木学園コミュニティ・スクール(CS)イベント 地域とともに「サイエンスマジックショー」

桜並木学園コミュニティ・スクール(CS)の取組として、CS委員の方が中心となり「マジシャンアキラ サイエンスマジックショー」を8日に開催しました。地域の皆様、本校児童、保護者の方々など、およそ200名が来場し、会場は終始あたたかな歓声に包まれました。

前半は「本格マジック」で、カードやコイン、日用品を使ったテンポのよい演技に、子どもたちの目は釘付けでした。爽やかなアキラさんの語りかけに子どもたちも自然と前のめりになり、手を挙げてステージに行く姿が見られました。後半は「サイエンスマジック」でした。空気のはたらきを体で感じる“空気砲”や、身近な素材で不思議が起きる実験型のマジックが続き、会場全体が「なぜ？」「どうして？」の問い合わせを持ち、深く考えて、発表したい！！と多くの子どもたちが手を挙げていました。見るだけでなく、手を伸ばして一緒に試し、科学を“実感”する時間となりました。



イベントの締めくくりに、CS委員の方より桜並木学園コミュニティ・スクールの活動紹介があり、学校サポーターの登録のお願い、登下校時の見守りにご協力いただける方の募集についてもご案内しました。本校は、地域とともにある学校づくりをいっそう進めてまいります。今回の催しにご尽力くださったCS委員のみなさま、そしてご参加くださった地域・保護者の皆様に心より感謝申し上げます。

12月の主な予定

- | | | | |
|----------------|--------------|------------------|-------------------------------|
| 1日(月) | 持久走記録② | 2年④6年 | 2日(火)特別日課(5時間授業)14:15 下校 |
| 3日(水) | 持久走記録① | 3年③1年④5年 | 3年消防署見学 並木中等生プレゼン(ロング昼) |
| 4日(木) | 学園学校保健委員会 | 持久走記録② | 4年 クラブ活動 5日(金)月曜日課14:15下校 |
| 6日(土) | PTA運営委員会 | 10日(水) | 昼読み聞かせ(クリスマス)・6年アーサーショントレーニング |
| 11日(木) | 委員会活動 | 12日(金) | 5年親子行事ドッジボール・げんでん表彰式 |
| 16日(火) | 朝読み聞かせ(4~6年) | ・4年ブックトーク | 6年英検 ESG 英語力向上アセスメント |
| 17日(水) | ロング昼休み | なみ KIDS | 1年あきまつり 18日(木) 朝読み聞かせ(1~3年) |
| 21日(日) | 科学教育振興助成果発表会 | 6年3名 | 22日(月) ロング昼休み・人権集会 |
| 24日(水) | 特別日課(5時間) | 13:30 下校・冬季休業前集会 | 25日(木)~1月7日(水) 冬季休業日 |
| 29日(月)~1月2日(金) | 閉学日(元旦含む) | 1月8日(木) 始業式 | 5時間授業・14:15 下校 |

